

第 28 回 下呂市上下水道運営委員会

令和 5 年 1 月 24 日

下呂市役所 環境水道部 上下水道課

第 28 回 下呂市上下水道運営委員会 会議録

【日時】 令和 5 年 1 月 24 日 火曜日 13 時 30 分から 15 時 20 分まで

【場所】 益田信用組合本店 3 階会議室

- 【次第】
- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議 題
 - 水道料金改定等について
 - 4 閉 会

【出席者】 <委員>

伊東 祐	☆会長
鈴木 裕識	☆学識経験者
内木 孝之	
熊崎 武司	
今井 美佐子	
野村 勝	
高木 祥子	
森 哲男	
曾我 純次	

<事務局>

今村 正直	(次長兼上下水道課長)
谷田部 武一	(上下水道課下水道係長)
庄田 剛	(上下水道課下水道係長)
中川 悦志	(上下水道課下水道係)
沼澤 聡	(業務支援員)

【欠席者】 <委員>

二村 チズ子	☆副会長
福永 和也	
岡田 佳香	
高井 範和	

【議事等の摘要】

1. 開 会

事務局 資料に基づき説明

○事務局（今村次長兼上下水道課長）

本日は二村副会長、小坂地域の2名の3名が欠席され、鈴木先生はリモートでの出席となります。出席委員は10名で、過半数に達しておりますので、只今から委員会を開催します。よろしくお願いいたします。

なお、本日は市長も出席いたしますのでよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

皆さんこんにちは。本日は寒い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

先日電気を止められお亡くなりになっていた事件をお聞きしました。ライフラインの水道を止める基準等についてお聞きしてみたいと思います。

上下水道料金の改定は、市民生活に直結することですので、これまで委員会を何度も開催し検討してまいりましたが、「委員会は何をやっていたのか」と言われたいように進めていきたいと思います。

また、料金改定議論の大詰めとなるので、十分な議論を尽くして欲しいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 市長あいさつ

本日は皆様大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

コロナが落ち着き、市として様々な施策を行う余裕が出てきましたので、子育て等にも今後力を入れていきたいと考えております。ゴミ袋につきましては、令和5年度から無料券と市販袋で出していただくよう準備を進めております。

上下水道事業は一般会計からの繰入金が多いことや、老朽管の更新等の課題・背景を抱えているので、一般市民の方にも料金改定など負担を負っていただきたいと考えております。負担をお願いするにしても、段階的な料金改定や、大口利用者への考慮などのソフトランディングをさせたいので、議論をお願いしたいと思います。

現在は物価高騰が続き、市民生活にも影響が大きいので注視していきたいと思っており、ご審議いただいております。上下水道料金の改定は重要な案件ですので、市民の皆様の負担を少なく出来るように進めたいと思っておりますので、委員の皆様のご意見を大切に検討していきたいと思っております。本日はよろしくお願いいたします。

4. 議 題

◆ 要点

- 大量使用者への配慮方法は決まらず、再検討となる。左記により料金体系も再検討となる。
- 委員は上水簡水の料金統一、値上げについては肯定的。
- 市長が令和 6 年 4 月の水道料金改定を明言。
- 加入分担金は上水金額に合わせ上水道と簡易水道を一する。
- 次回は 3 月 13 日（月） 13：30 に開催する。

<説 明>

前回（11 月 26 日）からの変更点を強調し、資料 P1～9 まで資料のとおり説明。
（強調点）

- 政策会議の決定事項
- 水道収入総額約 5 % 増の改定
（10 % を 5 %、内部留保資金の活用と、建設改良費 2 割を基準外繰入を前提）
- 大量使用者（301m³/月以上）の考慮を行う。

<質疑応答>

① 大口使用者配慮、月使用量 300m³ の妥当性

○委員

大量使用者の旅館等は大量に使用すればお客が多いということで、収入も上がるので、「考慮」する必要はないのではないか。必要経費との認識で受け止められるのではないか。

しかし、旅館業は変動も大きいこともあるが、旅館業を考慮しすぎると市民から不平が出るのではないかと思うので、その辺も踏まえ検討したらどうか。

○委員

収入が上がるにしても、顧客に費用転嫁できる訳ではないので月使用量 300m³ の中規模の旅館が苦しくなるのではないか。

●回答

大規模なのところ配慮できるが、中規模の事業者が救われないのではいけない。ソフトランディング、300m³ という線の説明と理解が必要となると思うし、割引などの方法を様々な視線から検討したい。

○委員

ポーターラインを月使用料 300m³ に設定し、同じ旅館業の中で「救われる者」、「救われない者」に分かれるのは良くないと思う。

○委員

市長が言われる通りで、「どこで線引きするのか」を議論するためには、使用者、水量の分布などの判断材料がないと議論ができない。また、料金体系が1案しか示されていないが、捨てた案なども示してほしい。選択肢がほしい。

P5で単価比較はできるが件数が入っていないので、件数を入れていただかないと議論ができないと思います。

決まった料金に率をかけてそこから割り引くといった手法も考えられるのでは。

話題2：全般意見について（会長が委員全員に意見を求める）

○委員

ライフラインなのだから値上げではなくより良い料金とすべきとしたい。上げる前提で進めているので、他の課題も資料提供できないか。これは、市が何をできるのではなく、市民が何をできるかが大切ではないかと考えるが、ライフラインなので課題は大きい。

○委員

事業者と私のような個人では、できる対応が違うので上手いことやってほしい。

○委員

これまでの水道の課題や背景等の経緯を踏まえ、値上げは肯定したいと思います。どのような料金体系とするかの着地点はテクニックの問題である。また、この資料では一般市民には理解されないので、市民説明においてはわかりやすい資料をお願いします。

○委員

合併後20年近くたったが、改定の議論がこれまでなかった。改定の具体的議論ができるようになってよかった。落としどころを決めなければいけない。

○委員

上水道料金と簡易水道料金が違うことを初めて知った今、違和感を持っている。な

ぜ合併の時にできなかったのか。赤字解消のためには必要なことだと思う。

○委員

各地域の立地条件が違うので料金体系が違っていたのではないか。

企業会計の処理は大変であるので、減価償却費の何%かは一般会計から補助できないかと考える。

○委員

料金統一に向けた論議で思うと当然のことで、同じ水質で同じ水を市民に配るのは当然のことで、中心部は安い、郡部は高いでは郡部に住む人が居なくなるので、市民感情として、同じ下呂市内で格差があるのは是正するべきだと思うし、全体の予算論ではなく市民目線で検討してほしい。

○委員

人口減少は過疎地域の簡水区域の方が進むのが早い。すなわち、簡水地域の方が今後一人当たりの費用負担が大きくなる。今のうちに上水区域と統一する方が得策であると思う。

○委員

市民感情を言い出すと何も決められないのではないか。上下水道料金は論議する場があるのだから、もっと論議が必要だと思う。

救われない者の0と、救われる者100の建付けは避けてほしい。

設備業者等水道関係者は漏水対応等で大変なので、その方を救うためにもランニングコストのことも考え料金を値上げしなければいけないのでは。

○委員

この20年間、料金改定ができなかった。高山市では面的な更新事業を進めるようになった。下呂市もそのようにするべきと伝えてきた。漏水も多い。赤字もある。私と同じ主婦たちにも水道の赤字のことを話したが、解消すべきとなった。人口が減少する中で、やれる時に値上げをやるべきだと考える。また、料金統一は料金改定と同じことでよいことだと考える。料金改定は今の内から少しでも進めていくことが大切だと考える。

加入分担金の統一はいつから行うのか？

●回答

水道の料金改定と同じ時期です。

●市長

基本的に合併から 20 年経過したのだが料金格差が大きいので、令和 6 年度からやりたい。まずは水道料金から論議していく。

（結論が纏まらなかったことを踏まえ、整理事項を発言）

一般家庭 5 % 増と事業者は再検討として、分けて説明していき、水道と下水の議論（資料）は分ける。

改定スケジュールで水道は令和 6 年度、下水は令和 8 年度以降なので、下水の議論は一旦休止し、水道の議論のみに焦点を当てる。

●回答

基本的に総額 5 % 増で、基本料金以下の方の負担を少なくしたいと考え、これを含めて検討していきます。

○委員

事業者と一般家庭の議論を分けていくことが大切で、一般家庭 3 人世帯は何件、2 人世帯は何件、1 人世帯は何件のように例示する。

また、管が老朽化し、水が配れなくなることを伝えれば、約 5 % の値上げは理解されると思うので、約 5 % の値上げで、市民にどんな利益が得られるかを示せば、理解されると思う。

●回答

委員の皆様の意見を踏まえ、再度検討するが、前提条件として、基本水量 10 m³、基本料金 13 は 1,000 円で、総収入の約 5 % 増額は認めていただきたい。

口径料金にすると口径ダウンも必要となるので、その説明も必要となります。

○委員

政策会議はどういったものなのか。資料を 1 週間前にいただけないか。

●回答

市長、副市長、教育長、総務部長、まちづくり推進部長と担当部署で開催される、行政の最高諮問会議です。資料については、送付するように進めます。

◆下水の話題に行きつかず、会終了となる。

●取りまとめ

本日の委員会は、水道料金と料金格差についてご審議いただきましたので、本日のご意見を踏まえ検討していきたいと思います。

次回は3月13日（月）に開催予定です。都合の悪い日があれば事務局まで連絡ください。

本日はお疲れさまでした。